

※ 海外ニュース ※

フランス 2016年6月21日 ASFA

■ 明日のモビリティの中心に位置する高速道路コンセッション会社：フランス人が未来の高速道路に抱くイメージは？

Les sociétés concessionnaires au cœur des mobilités de demain : Les Français imaginent l' Autoroute du futur

「未来の高速道路」をテーマにしたフランス高速道路協会（ASFA）の2016年度シンポジウムの開催を機にハリス・インタラクティブ社は、今後2050年までに高速道路がいかなる変容を遂げているのか、フランス人にそのイメージを問う調査を実施した。フランス人が抱く未来の高速道路のイメージは次のとおり。デジタル化され、インターネットに常時接続したいいわゆる「コネクティッド」な高速道路（86%）、遮断機なしの料金精算（68%）、公共輸送機関専用レーン（74%）、相乗りサービスを提供する高速道路（78%）、車の使用は今と変わらず個人単位のまま（63%）。またこのシンポジウムでは各高速道路コンセッション会社より、高速道路で開発された最新技術が紹介された。

ドイツ（スウェーデン） 2016年6月22日 Frankfurter Allgemeine Zeitung オンライン版

■ 電動トラック用高速道路の試験営業開始：スウェーデンで架空線につないだトラックの運行がスタート

Elektro-Highway im Testbetrieb : In Schweden fahren Lastwagen mit Oberleitung

今後2年の間、ストックホルム北方に位置する自動車専用道路E16号線の1区間2kmを、ディーゼル・ハイブリッド車両2台が走行する。これらの車両の効率はガソリンエンジン車の2倍。その分消費エネルギーが少なく、何よりも有害物質の排出量が抑えられる。

スペイン 2016年6月22日 Abertis

■ アベルティス・アウトピスタス社、携帯アプリケーションとして道路安全ゲーム「高速道路を行こう」を発売

Abertis Autopistas lanza un juego de seguridad vial integrado en su aplicación móvil Autopistas en ruta

未来の運転者である子どもたちへの道路教育をテーマにしたゲームを6月に発売するのは、夏の初めに当たるこの時期、有料自動車道路を家族で移動することが増えるからである。

スペイン 2016年6月22日 Ferrovial

■ フェロビアルのコンソーシアム、スロバキアの有料自動車道路D4号線とR7号線の決算処理を達成

El consorcio de Ferrovial alcanza el cierre financiero de las autopistas D 4 y R 7 en Eslovaquia

フェロビアルは系列のシントラ・インフラエストラクチャーとフェロビアル・アグロマンを通して、スロバキアの有料自動車道路D4号線とR7号線の計60kmの設計、建設、資金調達、コンセッションによる運営維持を担当する。総投資額は9億7,500万ユーロに達する見込み。

ドイツ 2016年6月27日 Spiegel オンライン版

■ 委託は2018年から：トラック課金の運営会社を新たに募集

Auftrag ab 2018 : Neuer Betreiber für die Lkw-Maut gesucht

Toll Collect社と締結している現行の契約は、2018年8月31日をもって終了する。トラック課金は年間およ

そ 45 億ユーロをドイツ連邦の国庫にもたらしている。課金の対象範囲は 2018 年 7 月 1 日付けで、39,000 km に及ぶ連邦道路の道路網全体に拡張される予定だ。さらに、交通省の発表によれば、落札は 2018 年の第 1 四半期になる予定だという。その際、新しく運営を請け負う業者は Toll Collect 社の株式を目下の所有者から直接購入するのではない。株式は連邦政府が譲渡目的で一時的に買い上げる形式を取り、政府から買い取らせる方針だ。

フランス 2016 年 6 月 28 日 Goodplanet

■ 運転手付き輸送車両 (VTC) の登場で、20,000 ~ 30,000 台の車が削減か

Les VTC ont permis de supprimer entre 20 et 30.000 véhicules

火曜日に発表されたフランス環境・エネルギー管理庁 (Ademe) の調査によれば、VTC (運転手付き輸送車両) の登場がフランス人の車との付き合い方を変えたとのこと。調査では、タクシーや公共交通機関の利用が減り、一部には車の購入を控えた人もいたとされている。Ademe は VTC のサービスによって、「フランス国内にて 21,000 ~ 30,000 台の車が削減された」と試算している。

ドイツ 2016 年 7 月 2 日 Zeit オンライン版

■ 自律走行：二者択一を迫られる車載コンピュータ

Autonomes Fahren : Der Bordcomputer in der Zwickmühle

大半の人々は、自律走行車の選択する行動は道徳的であるべきだと考えており、緊急の場合、複数の死者が出るのを未然に防ぐことができるなら、ドライバーの生命を犠牲にすることも辞さないという見解をもっている。ところがそのような考えの人でもいざ購入となると、自分の生命を他者の生命より優先する車両の方を買おうとするのが現実だろう。この調査から研究チームは重要な結論、つまり「行動選択プロセスの制御は社会的観点からみて必要であるかもしれないが、自動走行車の普及を遅らせる」ということを導き出した。

ドイツ 2016 年 7 月 9 日 Frankfurter Allgemeine Zeitung オンライン版

■ 自律走行：未来のモビリティが都市空間にまで進出

Autonomes Fahren : Die Mobilität von morgen erreicht die Stadt

自律走行車が公道を走行する日が来るまでには、まだ長い道のりが待っている。その時を迎えるための試験場が、このたびカールスルーエに設営されるようになった。こうした施設の例は、これだけではない。バーデン＝ヴュルテンベルク州政府は 250 万ユーロの拠出を決定した。これに加えてコンソーシアムが約 420 万ユーロを出資する。試験場として採択されたカールスルーエの市街区にはコミュニティ道路もあれば制限時速 30 km の区間もあり、また複数車線のある放射道路も含まれている。

スペイン 2016 年 7 月 13 日 El País オンライン版

■ サシル、イタリアの有料自動車道路を 28 億ユーロで落札

Sacyr se adjudica una autopista en Italia por 2.800 millones

スペインのサシル社はイタリアでローマ～ラティナ間の有料自動車道路 186 km の建設と 43 年間の経営契約を落札したと発表した。投資額は 28 億ユーロ。同社はコンセッション期間で 122 億 5,000 万ユーロの収入が得られると予想している。

ドイツ 2016年7月14日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ 橋梁の5%に差し迫った修復の必要性

Akuter Instandsetzungsbedarf bei fünf Prozent der Brücken

『ヴェルト』紙は、ドイツの橋梁が総額にして数百億ユーロ単位の資金を補修工事に必要としていると報道した。管轄官庁が「優先的に調査が必要」と分類した2,000基以上の構築物を修復するだけで、160億ユーロの経費が掛かるという。連邦道路交通研究所（BAST）のデータから明らかになったのは、ドイツの橋梁の劣化が修復の進捗より速いスピードで進行している事実である。『ヴェルト』紙が調査の対象とした期間の間に、6,000基近くの橋梁の状態が改修措置によって改善されていた。しかしながら同じ期間の間に、8,700基以上の構造物について、その健全度の評価が引き下げられていたのである。

ドイツ 2016年7月14日 Zeit オンライン版

■ 道路の劣化状況：ポットホールが自動車の損壊を引き起こしたら

Straßenzustand : Wenn Schlaglöcher das Auto ruinieren

ニュルンベルク上級地方裁判所（OLG）が下した判決に従えば、道路の状態が危険を生み出している時には、警告表示を出し、速度を制限するだけでは不十分（事件番号：4 U 3697/94）。連邦アウトバーンの路面に著しい窪みが発生した場合には、即座に改修措置を施すことが必要であり、最高速度を時速60 kmに引き下げるだけでは十分と言えない、と裁判所は判決を下した。

ドイツ 2016年7月25日 Spiegel オンライン版

■ 自律走行バス：進歩はすぐ身近なところまで来ている

Autonome Busse : Hier macht gerade der Fortschritt halt

将来、バスには自律走行機能が最大限に利用されるべきだ。このビジョン実現のため、目下いくつかの都市において実験が行われている。自動走行バスは都市部の外に住む住民にもプラスの効果があると期待されている。ドイツ交通関連企業連盟（VDV）の技術部門担当理事は、自律走行バスの活用によって路線網の拡大や運行間隔の短縮が実現するのではないかと期待し、次のように語る。「従来よりも小型の自動走行車両をコミュニティバスとして採用すれば、乗客をいわばその戸口で迎えに行き、大きな路線が交差する結節点まで運ぶことが可能になります」

スペイン 2016年7月28日 Ferrovial

■ フェロビアル、2016年上半期の純益が1億8,900万ユーロまで上昇

Ferrovial eleva su beneficio neto hasta 189 millones de euros en el primer semestre de 2016

有料自動車道路部門では、所有する資産の大半で交通量が増加した。米国、スペイン、その他の欧州諸国でも全体的に確実な改善傾向がみられた。売り上げは2億3,600万ユーロに達する。アウソル（ソル有料自動車道路）の交通量は12.7%増加した。また先ごろ、当社はスロバキアの首都ブラティスラヴァの環状道路『D4-R7 有料自動車道路』の契約を締結した。